

# 内省 最上志向 原点思考 運命思考 未来志向

人も、物事も、時空を越えてすべてつながっているとの感覚を持っています。今、自分の目の前で起こっていることは、過去の“あの”振る舞いが招いたことだとわかっているし、今の自分の行いは、いずれ未来のどこかで自分に跳ね返ってくることを知っています(原点思考×運命思考×未来志向)。

何かに取り組む際は、まずそれが必要となった経緯を辿り、今やるべきことは何かの本質を掴もうとします。そして、それを実行した結果として未来にどうつながっていくのかを、じっくりと考えてから取り掛かります(内省×原点思考×未来志向)。

何か困難なことに直面しても、「これも自分の撒いた種だ。」  
「これを乗り越えることに意味があるし、それはいずれわかることだ。」と受け止め、最善を尽くしてそれを乗り越えようとしています(最上志向×運命思考)。

思考が過去と未来を行き来し、出会う人たちにも、起きる出来事にも、すべてに対してつながりが見え、独特の世界観を持っているかもしれません。頭脳活動が旺盛ということもあり、何かを実行して形あるものを成果として出すことは苦手かもしれませんが、苦手に目を向けるより、むしろその頭の中にあるものを何らかの形でアウトプットし活かすことを考える方がいいのかもしれないね。